

令和 8 年度 第 1 回 渋川市市政モニターアンケート結果

渋川市は、市民の皆様から市政等に関する意見や要望をお聞きし、各種施策の推進や計画立案の参考とさせていただくことを目的に市政モニターアンケートを実施しました。

令和 8 年度 第 1 回 アンケートの集計結果は次のとおりです。

- 【調査対象】 令和 8 年度市政モニター 50 人（公募 14 人・団体推薦 36 人）
＜モニターの要件＞
- ・市内に住所を有する 18 歳以上の人
 - ・公務員や地方公共団体の議員などでない人
 - ・同一世帯に市政モニターに応募しようとする者がいない人
- 【実施期間】 令和 8 年 6 月 24 日（水）～ 7 月 10 日（金）
- 【実施方法】 アンケートフォームによる（一部、書面（郵送）調査）
- 【実施内容】
1. 渋川市のまちづくりについて（問 1～問 6）
 2. 渋川市公式ホームページの使いやすさについて（問 7～問 16）
 3. 市民のスポーツ・運動習慣について（問 17～問 25）
- 【回答状況】 アンケート調査回答者：46 人（20 歳代～80 歳代）
回答率：92.0%

参考

＜アンケート回答者の情報＞

- （1）居住地 渋川地区（20 人）、伊香保地区（7 人）、小野上地区（4 人）、子持地区（10 人）、赤城地区（5 人）、北橘地区（4 人）
- （2）年 齢 20 歳代（5 人）、30 歳代（8 人）、40 歳代（11 人）、50 歳代（9 人）、60 歳代（8 人）、70 歳代（8 人）、80 歳代（1 人）

渋川市

（広報課）

令和8年度 第1回
渋川市市政モニターアンケート

1. 渋川市のまちづくりについて

市は、子育てや産業、教育などさまざまな分野における市政の指針であり、まちづくりの最上位計画となる「総合計画」を定め、まちづくりを進めています。

現行の総合計画が令和9年度をもって終了することから、令和10年度以降も引き続き市民の皆さんにまちづくりの長期的な展望を示すため、第3次となる新しい総合計画の策定を進めています。

本アンケートでは、皆さんが「市の取組に対してどのように感じているか」、また、「今後、渋川市がどのようなまちになってほしいか」などについてお聞きし、計画策定の参考とします。率直なご意見をお聞かせください。

問1 あなたは、渋川市のまちづくりについてどのように感じていますか。

およそ10年間で、交通、施設、上下水道等のインフラが整備されたと感じるかどうかで判断し、当てはまるものを1つ選んでください。

- ①進んだ（2人・4.3%）
- ②どちらかと言えば進んだ（22人・47.8%）
- ③どちらとも言えない（11人・23.9%）
- ④どちらかと言えば進んでいない（7人・15.2%）
- ⑤進んでいない（4人・8.7%）

年齢別回答状況

単位:人

〇は人数	①	②	③	④	⑤	未回答	合計
20歳代(5)		3		1	1		5
30歳代(6)	1	4	1				6
40歳代(10)	1	4	2	2	1		10
50歳代(9)		5	2	1	1		9
60歳代(7)		2	3	2			7
70歳代(8)		3	3	1	1		8
80歳代(1)		1					1
合計(46)	2	22	11	7	4	0	46

※「①進んだ」「②どちらかと言えば進んだ」と回答した人は合わせて52.2%となり、およそ過半数がこの10年間で交通や施設、インフラ整備が進んだと感じている。一方、「③どちらとも言えない」が23.9%、「④どちらかと言えば進んでいない」「⑤進んでいない」を合わせると23.9%おり、十分な実感には至っていない層があることも分かる

問2 あなたは、渋川市のまちづくりについてどのように感じていますか。

およそ10年間で、さまざまな分野での市民サービスが向上したと感
じ
る
か
ど
う
か
で
判
断
し、
当
て
は
ま
る
も
の
を
1
つ
選
ん
で
く
だ
さ
い。

- ①向上している（4人・8.7%）
- ②どちらかと言えば向上している（22人・47.8%）
- ③どちらとも言えない（16人・34.8%）
- ④どちらかと言えば向上していない（3人・6.5%）
- ⑤向上していない（1人・2.2%）

年齢別回答状況						単位:人	
〇は人数	①	②	③	④	⑤	未回答	合計
20歳代(5)	1	2	2				5
30歳代(6)		4	2				6
40歳代(10)	2	4	3	1			10
50歳代(9)	1	3	4		1		9
60歳代(7)		4	2	1			7
70歳代(8)		4	3	1			8
80歳代(1)		1					1
合計(46)	4	22	16	3	1	0	46

※「①向上している」「②どちらかと言えば向上している」と回答した人は合わせて56.5%となり、過半数がこの10年間で市民サービスは向上したと感じている。一方、「③どちらとも言えない」が34.8%を占めており、サービス向上を実感できていない層も一定数存在する。「④どちらかと言えば向上していない」「⑤向上していない」との回答は合わせて8.7%にとどまり、全体としては肯定的な評価が多いものの、市民に実感される取り組みや情報発信を進めていくことが重要と考えられる

問3 あなたは、これからもずっと渋川市に住み続けたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ①住み続けたい（34人・73.9%）
- ②一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい（4人・8.7%）
- ③市外に移りたい（4人・8.7%）
- ④分からない（4人・8.7%）

年齢別回答状況					単位：人	
①は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(5)	2	2		1		5
30歳代(6)	5		1			6
40歳代(10)	8	2				10
50歳代(9)	8		1			9
60歳代(7)	5		1	1		7
70歳代(8)	5		1	2		8
80歳代(1)	1					1
合計(46)	34	4	4	4	0	46

※「①住み続けたい」と回答した人が約4分の3を占め、多くの回答者が今後も渋川市で暮らし続けたいと考えていることが分かった。一方、「②将来は戻ってきたい」、「③市外に移りたい」、「④分からない」はそれぞれ8.7%であり、一定数は将来の居住意向が定まっていない、または市外への転出意向を持っている。定住意向は高いものの、引き続き、将来も住み続けたいと思える魅力や環境づくりを継続して進めることが重要である

問4 あなたは、渋川市がどんなまちになってほしいと思いますか。「～なまち」という形で3つまで記入してください。

<簡易抜粋>

- ・老若男女にとって楽しみのあるまち
- ・障害者や生活保護受給者等助けを必要としている人にも温かなまち
- ・温泉や作物、名物料理など観光資源を有効活用した賑やかなまち
- ・住んでる人に優しいまち
- ・子育て応援なまち
- ・新しいことに挑戦する積極的なまち
- ・高齢者や子ども達が安心して住めるまち
- ・便利なまち
- ・保健医療の充実なまち
- ・交通インフラ整備の充実なまち
- ・高齢者や障害者が暮らしやすいまち
- ・移住・転入が増えるまち
- ・誰でも格差なく自由に生活できるようなまち
- ・明るく活気にあふれているようなまち
- ・魅力的なまち
- ・観光が活発なまち
- ・買い物しやすいまち
- ・自然豊かなまち
- ・温泉で有名なまち
- ・次の休みはここに行ってみようとワクワクするようなまち
- ・ゴミの無い清掃された綺麗なまち
- ・子育てがしやすく教育環境が整っている素敵なまち
- ・安心安全なまち
- ・住みはじめやすく住み続けやすい静かなまち
- ・人とのつながりに優しいまち
- ・教育熱心なまち
- ・誇りに思えるようなまち
- ・若者が来たくなるようなまち
- ・働きやすそうなまち
- ・若者が市政に共感できる、未来を感じられるよう
- ・企業が参入しやすい都市政策なまち
- ・無駄な施設を作らないまち
- ・持続可能なまち
- ・消滅可能性自治体脱却のまち
- ・伝統や文化を守りつつ革新を続けるまち
- ・農業に理解があるまち
- ・行政と市民が協働出来るまち
- ・小、中学校の統合を早め活気ある学校生活が送れるようなまち
- ・働きたいと思うような企業を誘致し、人口減少にならないようなまち

- ・スマートシュリンクなまち
- ・適切な公共施設が配置されたまち
- ・関係人口の多いまち
- ・力のある産業が誘致できるまち
- ・発達障害や弱者に社会的に優しいまち
- ・魅力あるベンチャー企業の雇用創生ができるまち
- ・固定資産税が低いまち
- ・文化的施設があるまち
- ・子供の声が聞こえるまち
- ・散歩していて楽しいまち
- ・スポーツを通して健康寿命年齢が高い健康なまち
- ・公民館事業が活発に行われ、交流機会が多いフレンドリーなまち
- ・高齢者や1人暮らしの方が孤独にならないまち
- ・近くに気軽に掛けられる乗り物の充実したまち
- ・行政が健全なまち

問5 あなたが、渋川市がまちづくりを進める上で優先して取り組むべきと考える分野を教えてください。当てはまるものを3つ選んでください。

- ①安全・安心に暮らせるまち（27人・58.7%）
- ②保健・医療制度が充実したまち（14人・30.4%）
- ③福祉制度が充実したまち（17人・37%）
- ④産業がさかんなまち（9人・19.6%）
- ⑤都市基盤が整備されたまち（6人・13%）
- ⑥自然豊かなまち（6人・13%）
- ⑦文化が息づくまち（4人・8.7%）
- ⑧教育環境が充実したまち（10人・21.7%）
- ⑨スポーツがさかんなまち（3人・6.5%）
- ⑩子育てのしやすいまち（21人・45.7%）
- ⑪自治・協働がさかんなまち（1人・2.2%）
- ⑫誰もが活躍できるまち（3人・6.5%）
- ⑬行財政が健全なまち（11人・23.9%）
- ⑭その他（1人・2.2%）

<その他意見>

・老人にやさしいまち

年齢別回答状況

単位：人

〇は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭(その他)	未回答	合計
20歳代(5)	3	1		1	2				1	4			1			13
30歳代(6)	3	1		2		1	1	3		4			2			17
40歳代(10)	5	3	4	4	2	1	1	2		5		1	2			30
50歳代(9)	5	3	6		1	2	1	1	1	3		2	2			27
60歳代(7)	4	3	2	1	1	1		3	1	3			2			21
70歳代(8)	6	2	4	1		1	1	1		2	1		2	1		22
80歳代(1)	1	1	1													3
合計(46)	27	14	17	9	6	6	4	10	3	21	1	3	11	1	0	

※最も多かったのは「①安全・安心に暮らせるまち」で、次いで「⑩子育てのしやすいまち」、「③福祉制度が充実したまち」となった。安心して暮らせる生活環境や子育て、福祉・医療の充実を重視する傾向が見られ、暮らしの質を高める取組への期待が大きいことがうかがえる

問6 あなたが渋川市の市長になったら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。自由に記入してください。

<簡易抜粋>

- ・交通事故が多い交差点や子供やご老人がよく歩く所に信号機を増設する
- ・歩道が無い道路に歩道や歩道橋を増設する
- ・坂道等冬に凍結リスクがある道路を凍らない様に工夫する
- ・市民への補助！今回の渋ペイ支給は迅速で、とてもありがたかったからです
- ・人気商業施設や人気チェーン店の展開
- ・子育て世代への手当
- ・今後子ども達が大きくなったときに渋川市を盛り上げたり自慢できる市でいてほしいのと、長く住んでいてほしいから子育て世代の人を大切にしたいと思います。これから出産を控えている人はもちろん、今子育てをしている人たちが渋川市でよかったと思ってもらえるように子育て関係に力を入れると思います
- ・高齢者の移動手段の充実。バスやタクシーなど気兼ねなく利用出来るようにしたい
- ・情報開示（議員も含め誰が何やっているのかわからない）
- ・市役所職員の研修制度の充実で社会人としてのレベルアップ（まず接遇から）
- ・少子高齢化、人口減少が進んでいるため、若い世代・世帯が出ていかず、また他の自治体から、移住してもらえよう、子育て世帯や若い世代に魅力があり、暮らしやすい政策を行う
- ・市民の声に耳を傾け、出来る事からコツコツと皆と一緒にやれる事はやり、出来ない事は何が原因なのかを追求していきたい
- ・宣伝マンとして飛び回り渋川市の魅力を発信出来るような行動を活発にした。市民に愛されるように常に市民と同じ目線で物事を見ていきたい
- ・他の市町村にない魅力を発信し差別化を図りたい
- ・移住者を増やす事を全力でやっていきたい。その為の施策を増やしたい
- ・どこかの世代だけをピックアップするのではなく、全ての世代に住みやすくを目標にしつつ、お年寄りと子どもの交流、子どもと学生の交流などさまざまな世代間、人々との交流をしていく。ただ、その為には財政も必要なため、財政確保のためには何をしていくべきなのか。子育てしやすい、子どもがいてる町にしたい
- ・歩行者が安全にまちに出ていけるように、消えかかっている横断歩道はくっきりと描いたり、歩道の草の除去（ボランティアを集めてやってもらったり）、大きい通りにはちゃんと歩道を作ってお年寄りも子供も通りやすく
- ・年齢問わず楽しく参加できるイベント、伊香保、北橘、赤城、子持、小野上、それぞれの地区でも色々イベントを行う
- ・ゴミの日のプラ、ペットボトル等が週に1回捨てられるとリサイクル率が上がって街が綺麗になる
- ・こんにゃくやリンゴなどを使ったイベントみたいなものを行ったり、伊香保だけじゃないもっといろいろな渋川市に住んでいる自慢ができるいいところを楽しんで地域交流できるといい

- ・教育環境が充実し、子供からお年寄りまで安心して暮らせるまちにしたい
- ・女性が子育てしながら働ける環境を整えることに力を入れたい
- ・犯罪率低下と市外からの就職率の向上の両立を目指したい。とにかくたくさんの人が訪れたいと思う場所であると同時に、どんなに外から人が来ても安心安全の損なわれないまちづくりをしたい。トレードオフに見える関係ではあるが、「犯罪の少ない町だから、渋川に住みたい、渋川で働きたい、渋川で子育てがしたい」と思われるまちであってほしい。自分が子どものころはゲームセンターに不良がたくさんたむろして近づくのもためられるような時代だったが、いまは不良と呼ばれる子どもを見つけることの方が難しい。それでも子供たちはいまでもゲームが好きだ。峠に走り屋がはびこっていた時代もあったが、それもいまは昔となった。だが規制がかかったいまとなっても頭文字 D は人気を博している。安全のために介入することがまちの個性を失わせたとは思わない。「安全だったらいいな」ではなく「安全のためにこうする」と強気の姿勢をみせたい
- ・教育環境の整備。近隣市町村（榛東村、吉岡）に比べ、公共の交通機関が安定していると思う（駅が大きい、バスが止まる）人が集まりやすい環境が整っているからこそ、高等学校以上の環境整備が必要だと思う。また、観光地を活かした海外との繋がりを立てやすいと思うので小中学校の頃から国際交流を兼ねた授業カリキュラムを組み込み、高等学校では国際交流体験や、観光業体験など観光客をターゲットに生徒たちが渋川の街をアテンドする内容など入れたら面白いだろうなと思っています。子ども達が、渋川の地でしかできない学びを体験、経験、発信する。農業体験に観光客を取り込むのも面白いと思います
- ・車椅子や体の不自由な人が大都市のように安全に使いやすい歩道、施設の整備を重点にする
- ・中小企業・商店が活気づくような政策の検討
- ・教育が何よりも大事だと思うので、ある意味尖った、特徴ある学校づくりから始めたい。高校の合併が話題となっているが、以前、高校改革を進言した際には、『市内の高校は県立だから…』と取り合っていただけなかった。市内4校を合併するならば、渋川女子校はそのまま女子校として存続させ、学業成績のみならず、特徴ある人材確保を図り、県内女子教育のトップを目指す。それ以外の3校を統合し、普通科・情報科・工業科などに分け、特徴ある教育に特化させる
- ・渋川駅前の再開発や、ほかの駅前の施設の充実、駐車場の整備に力を入れ、各地区の温泉施設の活用をした開発や都心からの移住促進のためのニュータウン計画
- ・市街化の線引きを行う。企業誘致を促進する。税金の適切な運用。子育て支援の促進
- ・高齢化に伴い過疎地域に住んでいても細かい福祉医療が受けられるようにしたい
- ・子供が育ち市内で働き市内の産業を支え税収が上がりより良い生活ができる文化、歴史を守れる循環する社会

- ・伊香保温泉を基盤とした観光インフラの整備
- ・降雪地帯の融雪設備の整備
- ・農村部の子や孫が流出し、空き家が増え景観や安全面からも対策が急務である。若者は暮らしやすい新興住宅地に新築を買うケースが増えているが、貴重な農地を潰しているところがほとんど。空き家活用制度の拡充や解体費用の補助などで若者の農村回帰を促し活気あるまちづくりを進めたい。またこれにより農地と住宅地のセパレートをはっきりさせ、みんなが気持ちよく住める環境整備をしたい
- ・自治会の活発な活動が出来る街作り
- ・部下である職員の話をよく聞き、ハラスメントのない職場にして、守る
- ・現市長と同じように SNS を使って情報発信を行う
- ・まちづくりに尽力している渋川市民活動団体、ボランティア団体、教育団体等とのネットワークをつくり縦割り行政の弊害を改善
- ・市民を中心にした理念の下、各部署の連携と市民との協働事業の推奨。
- ・スマートシュリンクによるまちづくり
- ・一次産業とデジタルが融合する「活力ある地域経済」の確立
- ・伊香保温泉の観光活性化は既に限界と思われるので、温泉を利用した療養型施設の建設
- ・地価や固定資産税等の優遇を行い、工場や企業の誘致を促進し、若い世代の流入を図る
- ・旧村の道路で歩道があるところ管理ができないで草が背丈程になっています、せっかくある資源使えるようにしたら見栄えよく住みやすくなるのでは。限られた予算、工事、補助金も必要ですが、中心市街地活性化だけではなく目を向けるようにしたいです
- ・街中に公園を作って誰でも集えるまちにする
- ・個人の商店を復活させて、歩いていて楽しいまちにする
- ・教育や文化に力を入れたい。年を重ねても豊かな自然の中で文化を楽しみ、スポーツで体を鍛え、憩える町で有りたい
- ・地域活動・環境を改善・活性化しようと、自主的に取り組むチームへの活動支援金を配布出来るような仕組みづくりを推進し、地域の活性化を目的とした交流事業を支援する。(多種にわたる支援事業はあるが更に検討を進めて頂きたい)
- ・保育園、幼稚園の充実
- ・市街地に商業施設が集中するのではなく、様々な地域ごとに特色を生かしながら商店街を復活させたいと思います
- ・各地域ごとに魅力ある、市全体が観光なまちにしていきたいと思います
- ・医療や福祉を充実させ、子供から高齢者まで全員が安心して暮らせるまちづくりに力を入れたい。また、学生への学習支援や進学・就職支援を充実させ、家庭の事情に関わらず、安心して学べる・選択できる環境を整えたい。また、渋川市民全員が渋川で働きたいと思える雇用づくりや地域活性化にも取り組みたい

2. 渋川市公式ホームページの使いやすさについて

市は、市民の皆さんに必要な情報をより分かりやすく、探しやすくお届けするため、令和7年12月1日に渋川市公式ホームページのリニューアルを行いました。

今回のリニューアルでは、デザインの再設計だけでなく、「スマートフォンでの使いやすさ」「知りたい情報を見つけやすいこと」など、検索機能の強化を行っています。

また、広報しぶかわにおいて、より詳しい情報を提供するため、渋川市公式ホームページへのアクセスを促す2次元コードや、ホームページIDの掲載を行っています。

そこで、本アンケートでは、現在のホームページの使い心地や利用状況、改善点などについて、市政モニターの皆さんのご意見をお聞きます。

問7 あなたは、日頃、インターネットをどのくらい利用していますか。当
てはまるものを1つ選んでください。

- ①ほぼ毎日（38人・84.4%）
- ②週に数回（2人・4.4%）
- ③月に数回（2人・4.4%）
- ④必要な時だけ利用する（2人・4.4%）
- ⑤ほとんど利用しない（1人・2.2%）

年齢別回答状況							単位:人
①は人数	①	②	③	④	⑤	未回答	合計
20歳代(5)	5						5
30歳代(6)	6						6
40歳代(10)	9			1			10
50歳代(9)	9						9
60歳代(7)	6		1				7
70歳代(8)	3	2	1	1		1	8
80歳代(1)					1		1
合計(46)	38	2	2	2	1	1	46

※「①ほぼ毎日利用する」と回答した人が大多数を占め、年代を問わずインターネットが日常的な情報収集手段として定着していることが分かった。一方で、「②週に数回」以下の利用頻度の人も少数ながら存在しており、特に高齢層を含め、誰もが必要な情報を得られるよう、工夫を継続することも重要と考えられる

問8 あなたは、浜川市公式ホームページをどのくらい利用していますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ①ほぼ毎日（4人・8.9%）
- ②週に数回（4人・8.9%）
- ③月に数回（3人・6.7%）
- ④必要な時だけ利用する（28人・62.2%）
- ⑤ほとんど利用しない／利用したことはない（6人・13.3%）

年齢別回答状況

単位：人

〇は人数	①	②	③	④	⑤	未回答	合計
20歳代(5)				3	2		5
30歳代(6)	1	1		4			6
40歳代(10)		1	1	8			10
50歳代(9)		2		5	2		9
60歳代(7)	1		1	5			7
70歳代(8)	2		1	3	1	1	8
80歳代(1)					1		1
合計(46)	4	4	3	28	6	1	46

※「④必要な時だけ利用する」が最も多く、市公式ホームページは必要な情報を得るためのツールとして活用されていることが分かった。一方で、「⑤ほとんど利用しない／利用したことはない」との回答も次いで多くあり、より多くの人に利用してもらうために、必要な情報へたどり着きやすい構成や周知の充実を図ることが、引き続き重要と考えられる

問9 主にどのような目的で渋川市公式ホームページを利用していますか。当
てはまるものを全て選んでください。

- ①ごみの出し方や分別方法・生活情報の確認（21人・45.7%）
- ②手続き・申請方法の確認（19人・41.3%）
- ③イベント・観光情報の確認（18人・39.1%）
- ④子育て・教育情報の確認（12人・26.1%）
- ⑤防災・災害情報の確認（19人・41.3%）
- ⑥健康・福祉情報の確認（12人・26.1%）
- ⑦市からのお知らせ・広報しぶかわを見るため（16人・34.8%）
- ⑧特に決まっていない（4人・8.7%）
- ⑨渋川市公式ホームページを利用したことがない（4人・8.7%）
- ⑩その他（2人・4.3%）

<その他意見>

- ・臨時の給付金等の進捗情報（最近では渋 Pay ポイントの配布）
- ・月1回広報読む

年齢別回答状況											単位:人	
〇は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩(その他)	未回答	合計
20歳代(5)	2	2		1	1			1	1			8
30歳代(6)	1	3	3	3	2	1	4					17
40歳代(10)	7	4	5	4	4	4	2	1		1		32
50歳代(9)	6	4	3	1	5	2	3	1		1		26
60歳代(7)	2	4	5	1	2	4	4	1				23
70歳代(8)	3	2	2	2	5	1	3		2			20
80歳代(1)									1			1
合計(46)	21	19	18	12	19	12	16	4	4	2	0	

※「①ごみの出し方や分別方法・生活情報の確認」が最も多く、次いで「②手続き・申請方法の確認」、「⑤防災・災害情報の確認」、「③イベント・観光情報の確認」となった。市公式ホームページが日常生活に必要な情報や行政手続き、防災情報を確認する手段として幅広く活用されていることが分かった。引き続き、利用者が必要な情報へ迅速にアクセスできるよう、分かりやすい情報整理や検索性の向上を継続して図ることが必要である

問 10 渋川市公式ホームページの「記事 ID 検索機能」を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ①よく利用している（1人・2.2%）
- ②知っていて利用したことがある（2人・4.3%）
- ③知っているが利用したことはない（19人・41.3%）
- ④知らなかった（24人・52.2%）

年齢別回答状況					単位:人	
〇は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(5)			1	4		5
30歳代(6)			5	1		6
40歳代(10)		1	4	5		10
50歳代(9)		1	4	4		9
60歳代(7)	1		1	5		7
70歳代(8)			4	4		8
80歳代(1)				1		1
合計(46)	1	2	19	24	0	46

※「記事 ID 検索機能」を「④知らなかった」と回答した人が半数を超え、「③知っているが利用したことはない」が41.3%となるなど、認知・利用ともに十分とは言えない結果となった。一方で、実際に利用したことがある人は6.5%にとどまっており、広報紙やホームページなどを通じた機能の周知に加え、利用方法を分かりやすく案内することで、利便性向上につなげていくことが必要である

問 11 広報しぶかわに掲載されている 2 次元コード (右下の画像のようなもの) を利用したことがありますか。当てはまるものを 1 つ選んでください。

- ①よく利用する (3 人・6.5%)
- ②時々利用する (12 人・26.1%)
- ③見たことはあるが利用したことはない (27 人・58.7%)
- ④ 2 次元コードがよく分からない (3 人・6.5%)
- ⑤広報しぶかわを見ていない (1 人・2.2%)



▲ 2 次元コード

年齢別回答状況						単位: 人	
〇は人数	①	②	③	④	⑤	未回答	合計
20歳代(5)			4		1		5
30歳代(6)	1	1	4				6
40歳代(10)	2	4	4				10
50歳代(9)		3	6				9
60歳代(7)		2	4	1			7
70歳代(8)		2	5	1			8
80歳代(1)				1			1
合計(46)	3	12	27	3	1	0	46

※「③見たことはあるが利用したことはない」が最も多く、「①よく利用する」、「②時々利用する」を合わせても 32.6%にとどまった。2 次元コード自体の認知は有ると考えられる一方で、利用には十分つながっていないことから、利用方法や、アクセスすることで得られるメリット、掲載内容などを分かりやすく伝え、利用を促進する工夫が必要である

問12～16は渋川市公式ホームページに実際にアクセスして回答をお願いします。

問12 問11の2次元コード、URL (<https://www.city.shibukawa.lg.jp/index.html>)
または検索サイトなどから、渋川市公式ホームページにアクセスしてください。(閲覧する機器は、パソコン、スマートフォンなど、普段使っているものでかまいません)

今回、ホームページを閲覧する機器を選んでください。

- ①パソコン (9人・20.5%)
- ②スマートフォン (32人・72.7%)
- ③その他 (3人・6.8%)

<その他意見>

- ・タブレット
- ・ない
- ・他の行事等に迫られチャレンジが出来ません

※「②スマートフォン」が約7割を占め、多くの回答者がスマートフォンを主な閲覧手段としていることが分かった。今後もスマートフォンでの見やすさや情報の探しやすさを重視したホームページづくりを進めることが必要である

年齢別回答状況					単位:人
〇は人数	①	②	③(その他)	未回答	合計
20歳代(5)		5			5
30歳代(6)	1	5			6
40歳代(10)	1	9			10
50歳代(9)	3	5	1		9
60歳代(7)	1	6			7
70歳代(8)	3	2	2	1	8
80歳代(1)				1	1
合計(46)	9	32	3	2	46

問13 渋川市公式ホームページで、実際に情報を探してみたいです。

『渋川市に市外から転入してきた人が、「転入届」を提出するのは、住み始めてから何日以内か』ホームページを使って調べてみて、結果を回答してください。

- ①見つかった (35人・81.4%) (答え: 14日以内)
- ②見つけれなかった (8人・18.6%)

年齢別回答状況				単位:人
〇は人数	①	②	未回答	合計
20歳代(5)	4	1		5
30歳代(6)	6			6
40歳代(10)	7	3		10
50歳代(9)	8	1		9
60歳代(7)	6	1		7
70歳代(8)	4	2	2	8
80歳代(1)			1	1
合計(46)	35	8	3	46

※「①見つかった」と回答した人は約8割を占め、多くの人が目的の情報にたどり着くことができた。一方で、「②見つけれなかった」との回答も18.6%あり、引き続き、より多くの利用者が必要な情報へ円滑にアクセスできるホームページづくりが求められる

問 14 問 13 で「①見つかった」と回答した人にお聞きします。その情報が載っているページに、どのようにしてたどり着きましたか。当てはまるものを 1 つ選んでください。

- ①キーワード検索（21 人・60.0％）
- ②メニュー（くらし・手続き、健康・医療などの分類をたどる）（10 人・28.6％）
- ③トップページ中央に並んでいるボタン（ごみ、税金など）（3 人・8.6％）
- ④その他（1 人・2.9％）

<その他意見>

- ・『渋川市に市外から転入してきた人が、「転入届」を提出するのは、住み始めてから何日以内か』をコピーして、検索サイトにペーストして検索した。

年齢別回答状況					単位：人	
〇は人数	①	②	③	④(その他)	未回答 (問13で②を 回答した人も 含む)	合計
20歳代(5)	3			1	1	5
30歳代(6)	4	1	1			6
40歳代(10)	4	2	1		3	10
50歳代(9)	2	5	1		1	9
60歳代(7)	6				1	7
70歳代(8)	2	2			4	8
80歳代(1)					1	1
合計(46)	21	10	3	1	11	46

※目的のページへ到達した方法は、「①キーワード検索」が最も多く、次いで「②メニュー（くらし・手続き、健康・医療などの分類をたどる）」となった。利用者の多くが検索機能を活用して目的の情報を探していることから、検索精度の維持・向上に加え、メニュー構成やトップページからの導線を分かりやすくすることで、さらに情報へたどり着きやすいホームページづくりが求められる

問 15 問 13 で「②見つけられなかった」と回答した人にお聞きします。どのようにして情報を探しましたか。当てはまるものを全て選んでください。

- ①キーワード検索（2人・25.0%）
- ②メニュー（くらし・手続き、健康・医療などの分類をたどる）（4人・50.0%）
- ③トップページ中央に並んでいるボタン（ごみ、税金など）（0人・0.0%）
- ④その他（2人・25.0%）

＜その他意見＞

- ・わからない

年齢別回答状況					単位：人	
①は人数	①	②	③	④(その他)	未回答 (問13で①を 回答した人も 含む)	合計
20歳代(5)		1			4	5
30歳代(6)					6	6
40歳代(10)	1	2			7	10
50歳代(9)	1				8	9
60歳代(7)				1	6	7
70歳代(8)		1		1	6	8
80歳代(1)					1	1
合計(46)	2	4	0	2	38	46

※情報を見つけれなかった回答者では、「②メニュー（くらし・手続き、健康・医療などの分類をたどる）」から探した人が最も多く、次いで「①キーワード検索」、「④その他」となった。メニューや検索機能を利用しても目的の情報にたどり着けないケースがあることから、検索精度や導線の改善、分かりやすいページ構成の工夫が求められる

問 16 渋川市公式ホームページを使ってみた感想や、使いにくい・探しにくいと感じた部分、さらに充実してほしいと思う情報がありましたら、自由に記入してください。

<簡易抜粋>

- ・使い易いと思います。ただもう少し色味があった方が、視力の悪い人や色の識別が難しい人には分かり易いかも知れないと感じました
- ・キーワード検索がすごく便利だった
- ・年配の方はちょっと大変かもしれないけど私は検索を使ったのですぐ見つけることができた
- ・ふつう
- ・アンケート機能が使いにくい。一度離れると最初から入力やり直し
- ・HP が他の自治体と似たような印象がある。使いにくいとは思われない
- ・ホームページ自体は使いやすく問題ないがお年寄りにもわかりやすく使いやすいようにした方が尚更良いと思います
- ・見つけたい項目がわからない
- ・検索しやすいほうがいい
- ・インターネットに慣れているなら使いやすいと思いました。自分は問題なく拝見させていただいております。YouTube 動画の紹介も良かったと思います。その他の伊香保の動画なども積極的に紹介して貰えると嬉しいです
- ・思っていたより使いやすかった。いろいろな情報がある。移住するときはよく見ていたけれど、その後は、広報と LINE、わからないときは直接聞きに行ったりしてあまり利用してなかった。LINE から入っていただけるけど、送られてくる情報しかあまり活用していなかった
- ・個人的な利用（子育て情報）では以前より使いやすくなったが、仕事で情報を探すときには目的まで到達するのに少し時間がかかるときがある
- ・「市役所 ○○」のような形で検索するとだいたい欲しいページにすぐアクセスできるので使いにくいと感じるところは特にありません。あえて言うのであれば、表記のブレや不足に対応できるようページ内に多少余分でも説明の文章があるとありがたいです。転入届の例で言いますと、「渋川市役所 転入」と検索したときと「渋川市役所 転入届」と検索した時では検索エンジンのトップに来るページが違います。実際には「引越し・住まい・土地＞転入された方へ」とページが続くのでどちらでもかまいませんが、「転入された方へ」のページには「引越し」の文字がないため検索に引っかかりにくいと感じます。転入という「正式な表記」がなくても検索に引っかかるよう説明の文章があるとよいのでは、と思います。似たようなケースで若干不便さを感じた例では「後援申請」になります。「渋川市役所 後援申請」で検索すると「市の後援申請＞後援申請関係」と市の後援のページのみが出るのですが、実際には教育委員会の後援や市議会の後援をお願いしたかったことがあります。よく検索されるであろうワードと、それによって開くページの齟齬が少なくなるよう、ご配慮いただけると助かります。または、検索されるであろうワードに関連したページは、部署が違ってもリンクをつなげていただけると助かります

- ・見やすくわかりやすくなったと思います。公式 LINE での情報はよく見ます
- ・地味に感じますが、使うにはさほど不都合は感じられません
- ・キーワード検索のボタンは最下段にあったが、複数あっても良いと思う。また、キーワード検索した結果表示画面の文字が非常に小さいのも気になった
- ・重要な情報がすぐに見れるように更新内容は最上部あるとよい
- ・ごみ出し等乱雑な出しかたとしている所が多いようなので整理されているホームページをもっと市民に活用してもらえるようにアピールする必要があると感じます
- ・スマートフォンからの利用が非常にわかりやすくなった
- ・キーワードをいかに探すかが必要
- ・常に更新は行っていると思うが、最新の情報提供を望みます
- ・転入届は住み始めてから 14 日以内と解釈しましたがホームページから探すのは手間がかかりました。転出入を転出、転入と個別表示されたほうがわかりやすいと感じました
- ・市長が何を考えているかの言葉が欲しい
- ・コマ割りが見にくい
- ・使い勝手に問題はないと思われます。日常必要とされる情報は全て記載されているようです
- ・パソコンがあまり得意でないので使ってみてこんなものかと思った
- ・普通に使えた
- ・充実していると思いますが、高齢者等が見やすく触れ合いやすい雰囲気をもっと目指して取り組んでいただきたい
- ・以前よりは良くなった気がする
- ・機能や必要情報は分かりやすく盛り込んであり、関連情報についても知れるので行政としてのホームページの役割は十分に果たしていると思います。ただちょっとお堅いと言いますか・・・文字情報ばかりなので、不要ではあるのですが、イラストや写真等を入れるとより興味をひきやすくなるのかなと思いました
- ・私はもっとも苦手なのがスマホやパソコンの取り扱いです。秋口になったら勉強しますね

3. 市民のスポーツ・運動習慣について

市は、市民が健康でいきいきと暮らせるまちを目指し、スポーツや運動を通じた健康づくりを推進しています。近年、少子高齢化やライフスタイルの多様化により、運動やスポーツとの関わり方が変化しており、競技だけでなく健康づくり、介護予防、地域づくりなど、その役割も広がっています。

こうした状況を踏まえ、市は「第2期渋川市スポーツ推進計画」に基づき、「一市民一スポーツ」の実現を目指すとともに、「生活の中に運動を」をキーワードに、誰もが無理なく運動を続けられる環境づくりを進めています。現在はスポーツイベントや部活動の地域展開、ラジオ体操など、気軽に取り組める運動習慣の普及にも取り組んでいます。

また、令和11年（2029年）には群馬県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（国スポ・全スポ）が開催予定です。

本アンケートは、市民の皆さんの運動習慣や運動を行う上での課題やニーズを把握するとともに、国スポ・全スポへの関心などについてお聞きし、今後のスポーツ施策や健康づくり事業の参考とします。

問17 あなたは現在、意識して体を動かす習慣がありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ①毎日ある（11人・23.9%）
- ②週に数回ある（9人・19.6%）
- ③月に数回ある（12人・26.1%）
- ④ほとんどない（9人・19.6%）
- ⑤全くない（5人・10.9%）

年齢別回答状況

単位：人

〇は人数	①	②	③	④	⑤	未回答	合計
20歳代(5)	1		2	1	1		5
30歳代(6)	2		2	2			6
40歳代(10)	1	2	2	2	3		10
50歳代(9)	2	4	1	2			9
60歳代(7)	2		4	1			7
70歳代(8)	3	2	1	1	1		8
80歳代(1)		1					1
合計(46)	11	9	12	9	5	0	46

※「③月に数回ある」が最も多く、「①毎日ある」、「②週に数回ある」と合わせると 69.6%となり、定期的に体を動かす習慣がある人が一定数いることがうかがえる。一方で、「⑤全くない」、「④ほとんどない」を合わせると 30.4%となり、約3割は体を動かす習慣が十分でない状況がみられた

問 18 運動やスポーツを続けるうえで、負担や課題に感じることはありますか。

当てはまるものを全て選んでください。

- ①時間がない（16 人・34.8％）
- ②面倒に感じる（13 人・28.3％）
- ③1 人では続かない（20 人・43.5％）
- ④運動が苦手（7 人・15.2％）
- ⑤きっかけがない（8 人・17.4％）
- ⑥お金をかけたくない（16 人・34.8％）
- ⑦近くに場所がない（12 人・26.1％）
- ⑧特に理由はない（7 人・15.2％）
- ⑨その他（1 人・2.2％）

<その他意見>

・感じない

年齢別回答状況

単位：人

①は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨(その他)	未回答	合計
20歳代(5)	2	2	2			1		1			8
30歳代(6)	5		3	1	1	3	1				14
40歳代(10)	6	4	4	4	3	4	3	1			29
50歳代(9)	2	4	5		2	3	2	1	1		20
60歳代(7)		2	2	1	2	2	4	1			14
70歳代(8)	1	1	4	1		3	2	2			14
80歳代(1)								1			1
合計(46)	16	13	20	7	8	16	12	7	1	0	

※「③1 人では続かない」が最も多く、次いで「①時間がない」、「⑥お金をかけたくない」、「②面倒に感じる」が続いた。運動やスポーツの継続には、気軽に参加できる仲間づくりや参加しやすい環境づくりに加え、時間や費用の負担を抑えた取り組みを充実させることが重要である

問 19 「スポーツ」よりも、「健康のために少し体を動かす活動」のほうが参加しやすいと感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ①とてもそう思う（19人・41.3%）
- ②ややそう思う（16人・34.7%）
- ③あまりそう思わない（8人・17.4%）
- ④思わない（3人・6.5%）

年齢別回答状況					単位:人	
〇は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(5)	3		2			5
30歳代(6)	1	4	1			6
40歳代(10)	4	3	2	1		10
50歳代(9)	3	3	2	1		9
60歳代(7)	5	1	1			7
70歳代(8)	3	5				8
80歳代(1)				1		1
合計(46)	19	16	8	3	0	46

※「①とてもそう思う」と「②ややそう思う」を合わせて、76.0%が「健康のために少し体を動かす活動」のほうが参加しやすいと回答した。競技性のある「スポーツ」よりも、気軽に参加できる健康づくりを目的とした運動へのニーズが高いことがうかがえ、誰もが無理なく参加できる内容や名称を工夫した事業展開が重要と考えられる

問 20 市内の公園などで、毎日決まった時間にラジオ体操の音楽や号令が流れる仕組みがあった場合、参加してみたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ①ぜひ参加したい（4人・8.7%）
- ②条件が合えば参加したい（15人・32.6%）
- ③あまり参加したいと思わない（22人・47.8%）
- ④参加しない（5人・10.9%）

年齢別回答状況					単位：人	
〇は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(5)	1	1	2	1		5
30歳代(6)		2	4			6
40歳代(10)		3	6	1		10
50歳代(9)	1	3	4	1		9
60歳代(7)		4	2	1		7
70歳代(8)	2	1	4	1		8
80歳代(1)		1				1
合計(46)	4	15	22	5	0	46

※「③あまり参加したいと思わない」が最も多かった一方、「①ぜひ参加したい」「②条件が合えば参加したい」を合わせると41.3%となった。一定数の参加意欲は見られることから、開催時間や場所など参加しやすい条件を整えることで、参加者の拡大につながる可能性がある

問 21 問 20 で「①ぜひ参加したい」、「②条件が合えば参加したい」と回答した人にお聞きします。どのような条件なら参加しやすいですか。当てはまるものを全て選んでください。

- ①自宅近くの公園（9人・52.9%）
- ②朝の短時間（8人・47.1%）
- ③土日開催（5人・29.4%）
- ④1人でも参加しやすい雰囲気（9人・52.9%）
- ⑤子ども・家族と参加できる（3人・17.6%）
- ⑥高齢者も参加しやすいゆったりとした雰囲気（9人・52.9%）
- ⑦スタンプカード等の楽しみがある（3人・17.6%）
- ⑧その他（1人・5.9%）

<その他意見>

- ・観光地なので、観光客も参加できる時間帯と場所と手軽さ

年齢別回答状況

単位：人

〇は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧(その他)	未回答 (問20で③か ④を回答した 人も含む)	合計
20歳代(5)	1	1		1		1	1		4	9
30歳代(6)	1	1			1				5	8
40歳代(10)	2	1	1	2	1	2			7	16
50歳代(9)	2	1	2	3		2	1		5	16
60歳代(7)	1	2	1	3		1	1	1	3	13
70歳代(8)	2	2	1		1	2			5	13
80歳代(1)						1				1
合計(46)	9	8	5	9	3	9	3	1	29	

※参加しやすい条件として、「①自宅近くの公園」、「④1人でも参加しやすい雰囲気」、「⑥高齢者も参加しやすいゆったりとした雰囲気」がいずれも最も多く、次いで「②朝の短時間」が続いた。参加を促進するためには、身近な場所で気軽に、一人でも参加しやすく、幅広い年代に配慮した実施方法が求められていることがうかがえる

問 22 今後、市に充実してほしいスポーツ・健康づくり施策はありますか。当
てはまるものを全て選んでください。

- ①気軽に参加できる運動教室（18 人・39.1%）
- ②子ども向けスポーツ環境（14 人・30.4%）
- ③高齢者向け健康運動（19 人・41.3%）
- ④家族で参加できるイベント（14 人・30.4%）
- ⑤健康づくりに関する活動に特典が付く（17 人・37.0%）
- ⑥その他（5 人・10.9%）

<その他意見>

- ・今キッズダンスが凄い盛んなのでしぶかわダンスフェスティバルみたいなのを開催してほしいです。タカサキダンスフェスティバルがあるのですがかなり盛り上がってるので1度検討していただきたいです。ビックリするほど参加者が集まると思います
- ・必要な所予算使いましょう。上下水道の補修など
- ・土日を中心としたスポーツ教室の充実を増やして欲しい
- ・子供でもなく高齢者でもなく一人でも参加できる環境。今は、ハイキングやランニングをしています、野球やバドミントンなどみんなでするスポーツも参加したいです
- ・スポーツジムなど、個々のスポーツへの取り組みに対する補助金

年齢別回答状況

単位:人

①は人数	①	②	③	④	⑤	⑥(その他)	未回答	合計
20歳代(5)	3	3	1	1	2			10
30歳代(6)		3		4	2	1		10
40歳代(10)	4	6	4	5	4			23
50歳代(9)	5		2	1	5	3		16
60歳代(7)	4		3	2	3	1		13
70歳代(8)	1	2	8	1	1			13
80歳代(1)	1		1					2
合計(46)	18	14	19	14	17	5	0	

※「③高齢者向け健康運動」が最も多く、次いで「①気軽に参加できる運動教室」、「⑤健康づくりに関する活動に特典が付く」が続いた。このことから年代に応じた運動機会の充実に加え、参加意欲や健康づくりを後押しする仕組みへのニーズが高くあることがうかがえる

問 23 市のスポーツや運動に関する情報を、どこから得ることが多いですか。

当てはまるものを1つ選んでください。

- ①広報しづかわ（24人・52.2%）
- ②渋川市公式ホームページ（1人・2.2%）
- ③渋川市公式 SNS（3人・6.5%）
- ④学校・地域団体（3人・6.5%）
- ⑤家族・知人（5人・10.9%）
- ⑥特に情報を見ていない（10人・21.7%）

年齢別回答状況

単位：人

〇は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	未回答	合計
20歳代(5)	1					4		5
30歳代(6)	2		1	1	2			6
40歳代(10)	4		1	1	2	2		10
50歳代(9)	5	1	1		1	1		9
60歳代(7)	6			1				7
70歳代(8)	6					2		8
80歳代(1)						1		1
合計(46)	24	1	3	3	5	10	0	46

※「①広報しづかわ」が情報源として最も多く、次いで「⑥特に情報を見ていない」、「⑤家族・知人」となった。一方で、市公式ホームページや SNS から情報を得る人は少ないことから、広報紙を中心としつつ、デジタル媒体の周知や情報発信の活用により、幅広い世代へ情報を届ける工夫が求められる

問 24 令和 11 年（2029 年）に、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（国スポ・全スポ）が、群馬県で開催され、本市においても、ソフトボール・軟式野球・ゴルフ・パワーリフティング・マレットゴルフの 5 つの競技が行われることを知っていますか。当てはまるものを 1 つ選んでください。

- ①開催されることも内容も知っている（5 人・10.9%）
- ②開催されることは知っている（18 人・39.1%）
- ③知らなかった（23 人・50.0%）

年齢別回答状況				単位：人	
〇は人数	①	②	③	未回答	合計
20歳代(5)	2	1	2		5
30歳代(6)		4	2		6
40歳代(10)	2	2	6		10
50歳代(9)		5	4		9
60歳代(7)	1	4	2		7
70歳代(8)		2	6		8
80歳代(1)			1		1
合計(46)	5	18	23	0	46

※「③知らなかった」が半数を占め、次いで「②開催されることは知っている」となり、「①開催されることも内容も知っている」は 10.9%にとどまった。大会に関する認知度は十分とはいえない状況がうかがえる。今後、開催情報や競技内容等について積極的な情報発信を行い、市民の認知向上を図ることが重要と考えられる

問 25 群馬県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に、観戦や関連イベントへの参加を目的に、行きたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ①ぜひ行きたい（3人・6.5%）
- ②興味のある内容なら行きたい（26人・56.5%）
- ③あまり行きたいとは思わない（7人・15.2%）
- ④行かない（6人・13.0%）
- ⑤分からない（4人・8.7%）

年齢別回答状況						単位：人	
〇は人数	①	②	③	④	⑤	未回答	合計
20歳代(5)	1	4					5
30歳代(6)	1	2	2	1			6
40歳代(10)		6	1	1	2		10
50歳代(9)	1	5		2	1		9
60歳代(7)		4	3				7
70歳代(8)		4	1	2	1		8
80歳代(1)		1					1
合計(46)	3	26	7	6	4	0	46

※「②興味のある内容なら行きたい」が最も多く、「①ぜひ行きたい」と合わせると約6割が参加に前向きな意向を示した。一方で、「③あまり行きたいとは思わない」、「④行かない」は合わせて28.2%であったことから、大会への関心や参加意欲を高めるためには、大会の魅力や観戦・参加機会について分かりやすく情報発信していくことが重要と考えられる